

誓約書

様式5

(法人用)

年 月 日

墨田区長 あて

商号又は名称
代表者の氏名

印

届出者及び届出者の役員は、住宅宿泊事業法第4条第2号から第4号まで、第7号及び第8号のいずれも該当しない者であることを誓約します。

併せて、墨田区長に住宅宿泊事業に係る届出を行うに当たり、墨田区が取得した情報（個人情報含む）は、住宅宿泊事業の適正な運営を確保する目的の範囲内で、関係行政機関（観光庁、消防署、警察等）に提供することに同意します。

また、旅行者の利便性向上や近隣住民とのトラブル防止のため、墨田区のホームページにおいて、届出に関する以下の情報について公開することに同意します。

- (1) 届出住宅の所在地
- (2) 届出番号
- (3) 届出年月日

(参考) 住宅宿泊事業法第四条（欠格事由）

次の各号のいずれかに該当する者は、住宅宿泊事業を営んではならない。

- 一 成年被後見人又は被保佐人
- 二 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- 三 第十六条第二項の規定により住宅宿泊事業の廃止を命ぜられ、その命令の日から三年を経過しない者（当該命令をされた者が法人である場合にあっては、当該命令の日前三十日以内に当該法人の役員であった者で当該命令の日から三年を経過しないものを含む。）
- 四 禁錮以上の刑に処せられ、又はこの法律若しくは旅館業法の規定により罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して三年を経過しない者
- 五 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成三年法律第七十七号）第二条第六号に規定する暴力団員又は同号に規定する暴力団員でなくなった日から五年を経過しない者（以下「暴力団員等」という。）
- 六 営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者でその法定代理人（法定代理人が法人である場合にあっては、その役員を含む。第二十五条第一項第七号及び第四十九条第一項第七号において同じ。）が前各号のいずれかに該当するもの
- 七 法人であって、その役員のうち第一号から第五号までのいずれかに該当する者があるもの
- 八 暴力団員等がその事業活動を支配する者